

第2回 祥雲探究祭開催!!

年次を超えた探究がさらに進化 祥雲2021

学びを深める多彩なプログラム
3年次生全員発表
2, 3年次生の研究交流
1年次生学びや体験の共有



令和3年9月30日(木)

テーマ 伝えよう 疑おう 語り合おう

第1部 3年次生の課題研究口頭発表

1回15分の発表 全66本・22教室 全校生が聴講

第2部① 1年次生Share our Experiences!!

探究活動・課外活動の共有、先輩・卒業生の体験から学ぶ

第2部② 2年次生の課題研究中間報告

2年次生の発表に3年次生がアドバイス

関学総合政策学部・理系学部講師からの指導助言

第3部 3年次生の課題研究ポスター発表

1回10分×4回の発表 全66本・36か所 全校生が聴講



第2部① 1年次生Share our Experiences!!



探究活動をシェアしてお互いに質問することで気づきがあり、また相手に伝えることで自分の考えもまとめる機会になりました。(1年次生)

第2部② 2年次生課題研究中間報告



自分たちのこれまでの研究をしっかりと伝えられました。大学の先生や先輩に頂いた助言のおかげで自分たちに足りないものを把握することができ、次のやる気が出ました。これからの探究が楽しみです。(2年次生)

アドバイスをする時間がすごく楽しくて良い時間でした。自分が後輩にアドバイスをする立場になって、自分が思っていた以上に経験値が上がっていたし成長できていたんだということを感じました。(3年次生)



来校者アンケートより

- 短期間の研究であるが、問題点を認識し改善につなげようとしている点良かった。
- 実際に探究を行ってきた3年生から2年生へのアドバイスや、発表へのアンケートなど適確に用意されていて「つながり」に役立つと思いました。
- テーマが明確かつ多様性に富んでいる。よく調べられている。
- 発表することで効果の再確認ができると思います。全体的に熱意が伝わり、良い探究祭だったと思いました。

第1・3部 3年次生課題研究発表



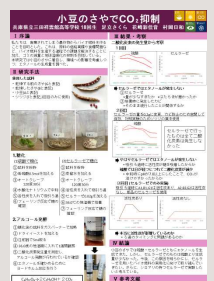
第3部では聞き手との距離が近く、より丁寧に研究内容を伝えることができました。たくさん質問もしてくれて、良い議論を交わせたのではないかと思います。研究内容はしっかり頭に入っているのでも、原稿を読むのではなくアドリブで、生きた言葉にのせて話せたと思います。また、ほかの講座の発表を聞いて、新たに発見したことがたくさんありました。(3年次生)

ポスター発表では少人数で聞くことができ、より理解しやすく、質問がしやすかったので探究祭を楽しめた感じがありました。先輩方のプレゼンテーション力や臨機応変に対応する姿に感動しました。これから僕たちがすることの目標を目で見て耳で聞いて確認することができました。(2年次生)

3年次生の研究を聞くことで、どのような手順で進めるのか、どのような実験をするのか、どのように伝えたらいいのか、などこれから私たちが探究を進める上で参考になる要素がたくさんあり、勉強になりました。自分も2年後同じ事をしなければいけないのだな、と感じ、気合いが入りました。(1年次生)

3年次生課題研究優秀賞

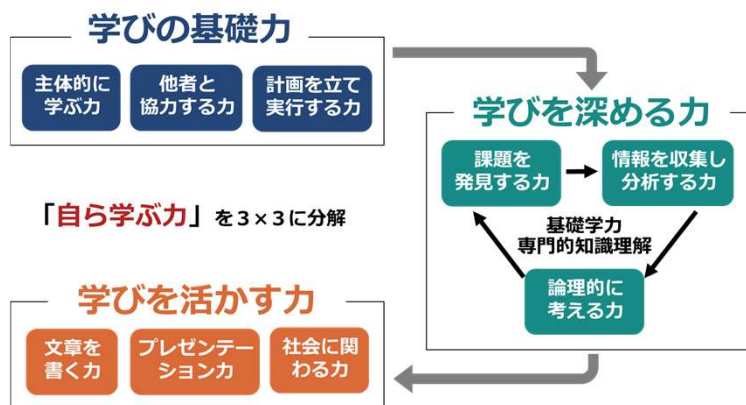
- ・関西弁コミュニケーション
- ・Go To 食堂～今ドキの高校生が求める食堂像とは～
- ・三田市魅力案内所～あなたの知らない三田をお届け～
- ・三田お助け隊！～Instagramでカフェ支援～
- ・ストレス軽減で記憶力をアップさせよう！
- ・円盤投の記録向上
- ・ストレスによる根の成長への影響
- ・小豆のさやでCO₂抑制
- ・学校と家庭の情報共有～欠席連絡をモデルに～
- ・天気予～天気出現率表を用いた三田市の天気予想～



三田祥雲館高校では、
探究活動を通して

「自ら学ぶ力」

を身につけます

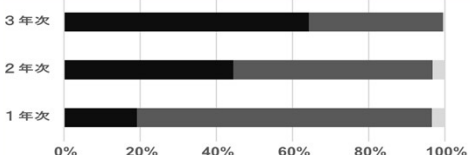


「探究祭」生徒アンケートより

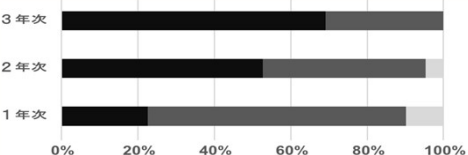
◎探究祭までの取り組みを振り返った自己評価

■よくできた ■できた □あまりできなかった

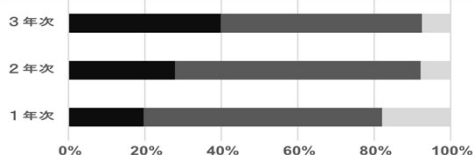
課題解決に向け主体的に行動した



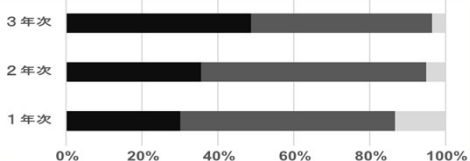
対話を通して議論を深め、他者の手助けをした



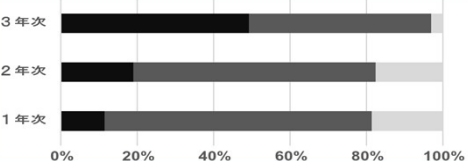
目標達成のための計画を定めて行動した



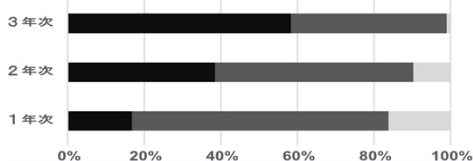
情報源を精査し必要な情報を収集、分類し役立てた



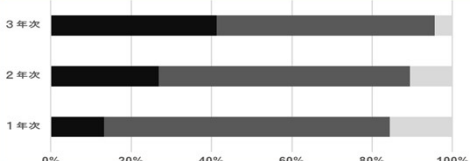
情報の因果関係を整理し順序だて関係性を見いだした



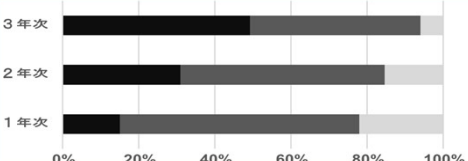
柔軟で多様な考え方により新たな課題を設定した



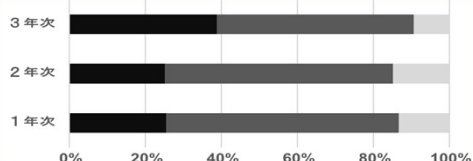
考えを伝えるために、文章を論理的に正しく書いた



自分の考えを口頭で論理的にわかりやすく伝えた



社会や自然の問題を自分事として捉えて考えた



◎探究祭までの取り組みの中で自分が変化したと思う点、今後の課題

学びを活かす 3 年次生

自分のやってきたことを自分の言葉で伝えようという目標を持って挑むことができた。チームのみんなのフォロワーもあり、自分らしく、聞いている人に寄り添った発表を行うことができた。

限られた時間で研究を進めていくために、先まで見通しを立てて計画することが大事だということを知った。

視野が広がり、他の人の発表を聞くときにも疑問に思うことが増えたり、意見を伝えられるようになった。

自分ができることを積極的に探して実行すること。自分の欠点を補い合う仲間がいることの大切さがわかった。

どれだけ調べたり、研究しても答えが出てこないことの面白さに気づけたことが良かった。

研究発表の回数を重ねてきたことで、自分たちの研究について自分たち自身がしっかりと理解することができ、質問に対してもしっかりと対応することができた。

わかりやすい発表に作り上げたつもりだったが、発表したはずのことを質問されたり上手く伝わっていない部分があった。

相手の発表をもっと理解するために他の分野にも知識を蓄えていかなければならないと感じた。

学びを深める 2 年次生

最初は探究の班の中でもあまり意見が出せなかったけれど、自分から共有ドライブを更新してみたりと行動できるようになった。

課題を見つける力や、班で協力して計画を進めていく力が、以前よりもついたと思う。

仲間と議論し、自分や仲間の意見を深め合うことができた。また、意見が異なる時は、どちらの意見も尊重することができた。

相手の発表を批判的に見る目(疑問が浮かぶという事)が養われたこと、また自分達が収集したデータを論理的に繋げる事ができるようになった。

どのようなスライドが聴衆にとって見やすいか、どのようにつまみ食いして発表内容を取捨選択するかをよく考えることができた。プレゼンテーション力が鍛えられたと思う。

その場その場で目の前のことに集中し過ぎてしまったり、長い目で見て計画を立てていなかった。

自分の言葉で話していない部分があるからもっと熱心に取り組んで自分の言葉にできるようにしたい。

RQへの考えや仮説の設定が不十分。客観的に自分達の研究を見てみる力が足りていないと思う。

基礎を固める 1 年次生

質問にどれだけ早く正確に答えられるかが、とても難しいので経験が必要だと気づいた。

言葉について考えられるようになった。この言葉を使うと誰かが傷ついてしまうかもしれないからこういうふうに変えよう、この言葉よりもこっちの方が伝わるかもしれない、などと意識できるようになった。

今まで知っていたつもりのもので知らない部分があると実感し、研究の主題になるものは意外と身近にあることに気づいた。

夏休み明け頃、全員の気持ち切り替わり班にまたまわりができた。そして、仕事を協力・分担しなかなかな進んでいかなかった準備をいっきに終わらせることができた。全員で協力して取り組むことで、大変なことでも簡単にできてしまったと思った。

先輩の話を聞いて色々な体験が大事だと分かったので、大学等のイベントに積極的に参加したい。

私たちと先輩方の違いは何かと考えた時、情報量の多さと客観的な信頼性が関係しているのかなと思った。

その場で質問に答える力や、発表の際の分かりやすい説明が課題だとわかった。探究でプレゼン力を鍛えていきたい。